

# POPS



体育館のステージにiPadを6台並べ、交代しながら伴奏演奏する



桜岡小学校では9月・11月、主に総合的な学習の時間（一部、音楽科の時間）を使って、MASAKingさんを迎えたオンライン授業と対面授業（各3回）、および学級での活動を行った。そのスタートは音楽の教科書にもある「I・I・V・I」の和音進行に乗せた旋律づくり。みんなが普段から使っているiPadにインストールされているGarageBandを使って、まず4人グループで、コードを奏でる担当・自分の旋律を鳴らす担当を交代し合いながら一人ずつ4〜8小節の旋律をつくった。それをグループ内で聴き合い・クラスで聴き合い、「クラスの代表としてふさわしい旋律」を10点程度選出。それを組み合わせ、MASAKingさんが一曲にまとめてくれた「○組の曲」

に、今度はクラスみんなで歌詞を付ける。詞のテーマは「まちの未来をみんなで作ろう」。自分たちの学校や地域に思いを馳せ、クラスみんなで頭をひねった。「幸せがたぐさん 僕たちの街 上大岡」などと地域への愛着を歌い、「輝くために一歩踏み出そう」と自分たちの決意や、「自分の力でつくるNEW横浜」と未来を担っていく意気込みも織り込んだ。子どもたちと担任の先生とでこれらの歌詞を考える時、彼らは自分の故郷を本気で見つめ直し、そこに生きる自分たちの現在と未来へ真剣に思いを馳せたのだろう。

そして、このプロジェクトの大きな特徴は「生演奏」。歌の伴奏にもGarageBandを用いるが、単なる打ち込み・録音のカラオケ音源にするのではなく、ライブで楽器を演奏するように子どもたちがステージ上でGarageBandをリアルタイムで操って「演奏」するのだ。3台のiPadにギター・ストリングス・シンセサイザーなどの音色を割り当て、3人ずつ4〜8小節ごとの交代で「演奏」する。メロディーの演奏が主である従来の合奏とは異なり、コードの演奏がメインなので、譜面への苦手意識も相らぐ。

生楽器と同様の、仲間と息を合わせたアンサンブルをステージで体験

ショーケースはそれぞれの個性が生きる



する一方、GarageBandでは指一本でもかっこいいサウンドが鳴らせるので、演奏のスキルが高い子も低い子もみんなが「ミュージシャン」になれる。MASAKingさんの電子パーカッションも子どもたちのアンサンブルをバックアップし、子どもたちがGarageBandで奏でる音楽はまるでテレビから流れてくる最新のテクノポップと同質の「かっこいい音楽」に……こうなれば、子どもたちのときめきと意欲はもう最高潮だ！

スタイリッシュなサウンドと軽快なビートに乗り、子どもたちの歌声もいつそう熱量が上がる。アフタービートで手拍子を入れたり、振り付けを入れたり、子どもたちのアイデアで魅力はどんどん増していった。そしてその最たるものが、MASAKingさんが間奏部分に設けた「ショーケース」。子どもたちが各々の特技を音楽の流れに乗せて発表するのだ。サッカーやバスケットボールをやっている子はバス回しを、ダンスを習っている

子は日頃の成果を。さらには縄跳び、けん玉、折り紙まで……学校ではなかなか披露する機会のない技や、普段はあまり人前で発表するようない類いのもではない趣味も、ビートに乗せれば全てが見応えのある「十人十色のパフォーマ

ンス」になる。まさにみんなの個性が包括されて花開いた「僕たちのクラスのステージ」。その最終ゴールは、11月末に行われた体育館ステージでの映像収録と動画サイトで発表。自分たちのオリジナルソングを全力で歌い、演奏し、パフォーマンスを披露した子どもたちの最高の表情と成長ぶりは、ぜひ実際の動画で観ていただきたい！

体育館での収録後、総合プロデュースであるMASAKingさんに、このプロジェクトに対する思いをたずねた。「タブレットや電子楽器を使った『GIGAアンサンブル』では、従来の音楽教育の合奏スタイルに何か新しい風を吹かせられるのではと考えています。しかも（校外の習い事などではなく）小学校での活動なら、みんながこの経験を得られる。先人たちが築き上げた音楽教育に、プロミュージシャンが培ってきたノウハウと電子テクノロジーを融合させて、たくさんの子どもたちに有意義な音楽体験をしてもらうことが、私のライフワークです。」



撮影終了後にはMASAKingさんによるミニライブ。各クラスの商品をつなげてメドレーで演奏し、子どもたちも大盛り上がり！

[GIGA アンサンブルコネクション 2022] プロジェクトダイジェスト in 横浜市立桜岡小学校



本番までの過程を振り返る 授業風景も観れます！